

自閉症の才能開発

テンプル・グランディン著

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

1

絵にして考える

- 自閉症者たちは、絵にして考えることのできないものを学習するのは難しい。
- 自閉症児が最も簡単に覚えることができるのは、絵に直接結びつくような名詞である。

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

2

フラストレーション

- 3歳の頃、しゃべることができないためにフラストレーションを感じたことを覚えている。そのために何度もかんしゃくを起こしたものだ。
- 言われたことはわかるのに、どうしても言葉が出てこない。

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

3

単一の感覚

- ドナウィリアムズは、一回に一つの感覚しか使えないことを説明している。
- 視覚を使うと、聴覚を閉じてしまう

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

4

触られることは

- 触られることには我慢できないのに、多くの自閉症児は圧迫刺激に飢えている。彼らは触られるよりも、自ら触る方を好む。

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

5

大きな音

- 私にとって大きな音は、全く歯医者さんのドリルが神経に突き刺さるような感じがして、実際に痛みを引き起こした。

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

6

歌を歌う回路

- 時々ノンヴァーバル児童が、話し言葉の能力を習得する以前に、歌を歌えるようになることを体験上知っている。こうした者の脳は話し言葉の能力を司る回路よりも、歌を歌う回路の方が正常なのであろう。

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

7

蛍光灯

- 蛍光灯は多くの自閉症者に深刻な問題を投げかけている。なぜなら彼らには蛍光灯のチカチカとする光波が全部見えるからである。

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

8

自閉症者の認知

- 多くの自閉症者に、私たちがどんなに世間の人たちと違った考え方をする人間かということの説明することで、私は彼らの助けになってきた。
- 自閉症者は世間の人々がどんなふうにか考え行動するのかを知ることによって、ことの次第を理解できるようになる。

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

9

恐怖

- 恐怖は動物世界では共通の感情である。なぜなら、恐怖は外敵を避ける強い動機をもたらすからである。
- 恐怖は自閉症者にとっても支配的な感情である。

2000年10月17日
(火)

自閉症の才能開発

10